

区分32	専門分野 血液学的検査	授業科目名	血液検査学実習	単位数	1単位 (40時間)
開講時期	2年 後期	担当教員	今村 文章	担当教員の 実務経験	有・無
◆実務経験の内容 三菱病院に5年間、諫早総合病院に34年間、合計39年臨床検査技師として勤務。その間、血液検査を専門として臨床実務を経験。その間、日臨技血液検査研究会の全国委員、平成8年からは班長を務めた。平成4年からは本校の非常勤講師として血液学を担当して以来32年目となる。					
◆授業の目的 止血、凝固、線溶について臨床検査技師として必要な臨床的意義と各種検査法を理解し、基本的な技術を身に付けることを目標とする。					
◆授業の概要・授業方針 各項目について、理論と基礎的技術手法を用いて試薬特性や技術を身につける。					
◆テキスト・参考資料等 教科書 血液検査学(医歯薬出版社)を中心に、試薬貼付の資料等を使用する。			◆成績評価の方法 出欠状況、授業に対する真摯さなどを観ながら、質問等に対する回答能力なども評価するが、最終的には試験での評価とする。		
授業計画					チェック欄
第1回	総論(止血・凝固・線溶、採血)、止血機序について				
第2回	実習 毛細管抵抗試験(陰圧法・陽圧法)、出血時間				
第3回	内因系・外因系・共通系凝固機序について				
第4回	実習 全血凝固時間、Ca再加時間				
第5回	外因系検査・複合因子測定検査について				
第6回	実習 PT(プロトロンビン時間)、ヘパプラスチンテスト・トロンボテスト				
第7回	内因系凝固検査について				
第8回	実習 APTT(活性化部分トロンボプラスチン時間)				
第9回	共通系凝固機序、フィブリノゲンについて				
第10回	実習 トロンビン法(フィブリノゲン)検量線作成				
第11回	その他のフィブリノゲン測定法(免疫法)等				
第12回	実習 各種サンプルのフィブリノゲン測定				
第13回	クロスミキシング試験について				
第14回	実習 クロスミキシング(交差混合)試験				
第15回	凝固阻止機構について				
第16回	アンチトロンビン・PC・PS・トロンボモジュリン				
第17回	線溶検査について				
第18回	実習 FDP・Dダイマー				
第19回	まとめ 国試対策等について				
第20回	予備				